

(別紙1)

令和6年度 実績報告書

(1) 事業名	佐賀発の実践的グローバル人財育成事業 ～SDGs (持続可能な開発) を推進し、佐賀と世界の未来を担うグローバル人財の育成～
(2) 実施期間	実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
(3) 事業目的、背景	<p>(事業目的・背景)</p> <p>認定 NPO 法人テラ・ルネッサンスは、「すべての生命が安心して生活できる社会 (=世界平和) の実現」を目指して 2001 年に誕生した国際協力 NGO である。当会は地雷、子ども兵、小型武器の課題に対し、海外現場での支援を行い、そして、国内では、啓発活動として、平和、人権、多文化共生などの視点から、教育機関、企業、行政などで累計 1636 回、延べ 165,464 人を対象に講演会を実施してきた (2001 年度～2017 年度)。</p> <p>佐賀県のグローバル人財育成は、近年、新型コロナウイルスの影響により、留学補助事業、海外研修等の事業に多大な影響が出ており、今後も予測の困難な事業運営が予想される。また、日本財団の「18 歳意識調査」によると、近年は若者の「国際意識」が低下しており、「内向き思考」の増加が顕著となっている。</p> <p>そのような中、「地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けるための教育」であるグローバル人財教育・SDGs 教育 (持続可能な開発のための教育。ESD: Education for Sustainable Development) は、あらゆる規模の社会課題を解決するための重要な基礎となる活動であり、佐賀県の未来を左右するものとも言える。</p> <p>(本事業で解決を目指す地域課題)</p> <p>佐賀県の教育現場では学校を地域に開き、多様なセクターとの連携によって ESD を実施する「機関包括型アプローチ」の取り組みが十分に進んでいない。ESD のための機関包括型アプローチは、従来の学校教育の枠組みには無い新しい教育の仕組みであるため、学校の孤立を改善する「学習環境の変革」が急務であるが、ソーシャルセクターと学校教育のネットワーキングの困難性により、両者の連携が進んでいない。</p>

<p>(4) 事業内容</p> <p>※できるだけ具体的に記載してください。</p> <p>※事業内容を示すフロー図等があれば添付可</p>	<p>【事業の概要】</p> <p>佐賀県内の教育機関（中学・高等学校）において、中学生・高校生を対象に、グローバルな着想をもって探究できる人財の育成を目指す「佐賀発グローバル人財育成事業」を実施する。この際、国内外の当会スタッフによる講義やワークショップに加え、佐賀県内のCSOや当会のアフリカ地域やカンボジア王国の海外事業地と密接に連携し、佐賀県及び海外における事象・問題を自分事として捉え、自ら問題解決に挑む人財を育むための連携プログラムを実施する。また、事業の仕上げとして、佐賀県内の社会課題の現場や海外事業地へのスタディツアーを行い、生徒に現地の実情を肌で感じられる機会を創出する。</p> <p>1 佐賀事務所における活動</p> <p>活動① 当会日本事務局スタッフによる社会課題解決講座</p> <p>学校教育における英語科・社会科・総合学習等の時間を活用し、地球規模の社会課題を解決するために必要な基礎知識を習得するための講義・ワークショップ・ディスカッションを行った。特に、現代社会を形作ってきた世界の歴史・社会構造・経済システム等について学び、社会問題を引き起こす背景に着目し、問題の本質を捉える力を育んだ。また、世界の課題の構造と、国内・地域の課題の構造を比較して学ぶ機会を創出し、世界と日本・身近な地域（佐賀県）の繋がりや関わりについて考察し、未来を担う生徒が「今何ができるか」を考える機会を提供した。</p> <p>●実施スケジュール：付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人財育成事業予定表」</p> <p>●主な受益者：66名（東明館高等学校生徒64名及び担任教員2名）</p> <p>活動② 当会海外事務所スタッフによる社会課題解決講座</p> <p>日本事務局スタッフによる講座によって学んだ知識や経験に基づき、人権問題、貧困の問題や平和構築の問題などの世界の課題について、佐賀県内の社会課題の現場で働くCSO職員や、海外の現場で働く当会の海外スタッフ、現地の受益者等と意見交換やディスカッション、ワークショップを主に英語によるコミュニケーションで行った。特に、生徒に現地の生きた経験や感覚を体感させ、異文化・他言語でのコミュニケーションの機会を提供し、多様かつグローバルな着想で物事を捉えられる力を育んだ。</p>
--	---

●実施スケジュール：付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人材育成事業予定表」

●主な受益者：66名（東明館高等学校生徒64名及び担任教員2名）

活動③ 佐賀県内CSO及び当会海外事業地と連携した「高校生による問題解決プログラム」

日本事務局スタッフ・海外事務所スタッフによる社会課題解決講座によって身に着けた知識・視点・対話力・コミュニケーション能力を生かし、当会海外事業地で生じている現地の課題の解決のための小規模プロジェクトを生徒に立案・計画・実行させた。その際、佐賀県内のCSOと連携し、県内プロジェクトの実行・評価・フィードバックの実施、スタディツアーの実行等の必要な支援を行った。

●実施スケジュール：（付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人材育成事業予定表」）

●主な受益者：26名（東明館高等学校生徒25名及び担任教員1名）

活動④ 佐賀県内の社会課題の現場及び海外事業地へのスタディツアー

問題解決プログラムで学んだ現地を訪問し、自らが計画し、現地で実行されたプログラムの効果を確認し、検証を行った。

●実施スケジュール：付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人材育成事業予定表」）

●主な受益者：26名（東明館高等学校生徒25名及び担任教員1名）の内、数名を選定

2 ウガンダ事務所の活動

●活動内容：佐賀県内の中学・高等学校の生徒64名に対するグローバル人材育成の一環として行う「海外スタッフによる社会課題解決講座」及び「高校生による問題解決プログラム」の支援のため、ウガンダ共和国グル県で行っている「元子ども兵及び最貧困層の自立支援活動」を事例として、オンラインによる現地駐在スタッフによる教育機会の提供、現地でのプロジェクトの実行・評価・フィードバックの実施等の必要な支援を行った。また、同プログラムで予定されている現地でのスタディツアーの計画・受け入れのための支援を行った。

	<p>●実施地域：ウガンダ共和国、グル県及び佐賀県</p> <p>●実施スケジュール：付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人財育成事業予定表」)</p> <p>●主な受益者：66名（東明館高等学校生徒64名及び担任教員2名）</p> <p>3 カンボジア事務所の活動</p> <p>●活動内容：佐賀県内の中学・高等学校の生徒64名に対するグローバル人財育成の一環として行う「海外事務所スタッフによる社会課題解決講座」及び「高校生による問題解決プログラム」の支援のため、カンボジア王国で行っている「カンボジア地雷埋設地域開発支援事業」を事例として、オンラインによる現地駐在スタッフによる教育機会の提供、現地でのプロジェクトの実行・評価・フィードバックの実施等の必要な支援を行った。また、同プログラムで予定されている現地でのスタディツアーの計画・受け入れのための支援を行った。</p> <p>●実施地域：カンボジア王国バタンバン州カムリエン郡カムリエン区ロカブス村、バン・レアン区プレア・プット村及び佐賀県</p> <p>●実施スケジュール：付紙第2「佐賀発の実践的グローバル人財育成事業予定表」)</p> <p>●主な受益者・想定人数：66名（東明館高等学校生徒64名及び担任教員2名）</p>
(5) 事業効果	<p>(事業効果及び県民が受けた便益)</p> <p>本年度は、佐賀市及び基山町の生徒66名を対象に、予定通り事業を実施いたしました。本事業を通じて、佐賀県の未来の創造に大きく貢献する人財の育成において、他県ではみられない画期的な成果を上げることができました。</p> <p>具体的には、世界の未来を担う「平和の担い手たるグローバル人財」として、変化の激しい時代において自らの未来を自らの手で創造していく力を育むことができました。</p> <p>また、本事業は佐賀県のESD（持続可能な開発のための教育）の推進にも大きく貢献しました。ESDにおける学校の孤立という課</p>

	<p>題に対し、「機関包括型アプローチ」の先進的なモデルを提供することで「学習環境の変革」を実現し、佐賀県の社会全体に共生社会を築く気運を醸成することができました。</p> <p>(効果が及んだ地域)</p> <p>事業地は佐賀県基山町に限定されたが、全国から多くの事業視察・研修者を受け入れることで事業の価値と取り組みの趣旨を広く社会に伝播することができた。</p>
<p>(6) 連携先・連携内容 (県、市町、企業、団体等)</p>	<p>連携した団体及び連携内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県国際交流協会（SPIRA）及びJICA（国際協力機構）佐賀デスクの協力により、佐賀県内におけるプロジェクトや海外におけるプロジェクトを実施した。また、ウガンダ共和国においては、在ウガンダ日本国大使館やJICAウガンダ事務所において研修を実施した。

※記載欄が不足する場合には、適宜、欄を拡大してください。